



校長通信

令和5年度28号 令和5年1月26日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

3学期がスタートしてから、3週目が終わろうとしています。子供たちの学校生活は、すっかり正常モードに戻り、日々、様々な学習活動に励んでいます。3年生は、中学校での最後の定期テストを終え、高校入試に向け、ラストスパートをかけています。今週末、和歌山私学の入試があり、本校からも多くの生徒が受験します。健康管理をしっかりと、本番で自分の力をしっかり出してきてほしいと思います。



《和歌山県 PTA 指導者研修会に参加しました》

1月20日（土）白浜町で、和歌山県 PTA 指導者研修会が開催され、会長、副会長を始め、役員さん、私を含め、河北中学校から計6名で参加してきました。

開会行事の後、毎日放送アナウンサーの、古川圭子氏の講演がありました。『ことばを使って気持ちを伝える』という演題で、わかりやすい言葉で、相手にきちんところらの意図を聞き取ってもらうための方法や、心がけを話してくれました。



その中で、いちばん印象に残っているのは、「アイ メッセージ」で伝えるということ。「～しなさい」「～してはいけません」というような、あなたが主語の言い方ではなく、「私は～してくれたらうれしい」「わたしは、あなたに～してほしい」など、自分を主語にして、相手に行動を促す話し方をすればよいという提案でした。

思春期の子供に声をかけるのに、ついつい「あれをしなさい」「それをしてはいけません」など言ってしまいがちですが、言い方をちょっと工夫して、「あれをしてくれたらうれしいな」「それをしたら、よくないと思うよ。」と表現するだけで、言われた方の印象は、肯定的なものになるな、と思った次第です。

研修会では、他の学校の PTA 活動の報告も聞かせてもらい、たいへん有意義なものとなりました。会長を始め、出席いただいた PTA 役員のみなさん、おつかれさまでした。